

やさしさ、あったかさを**発信!**



南阿蘇社協だより



「阿蘇地域災害ボランティア設置訓練開催」

災害時、早期に「災害ボランティアセンター」の立上りや運営を行うためのボランティアリーダーを養成する設置訓練を開催しました。(関連記事P6)

写真はオリエンテーションの様子

No.57

平成27年.9. 30
発行

編集・発行 社会福祉法人 南阿蘇村社会福祉協議会
TEL 0967-67-0294 FAX 0967-67-2317
<http://www.asoyamabiko.hinokuni-net.jp/minamiaso/>

生徒さんの声

後藤 優佳さん

初日は戸惑うことばかりで何をすればいいかわからなかったが、職員、利用者の皆さんが優しく声をかけてくれたので三日間楽しく福祉体験することができました。また、訪問活動では、ヘルパーの方とたくさん話すことができたのでいろいろ知ることができました。この福祉体験学習を忘れず、今後に生かしていきたいです。

渡辺 朔成さん

三日間福祉体験学習を通して、利用者の方は自分でどれくらいしたい事ができるのか、僕たちはどれくらい介護を必要とされているのかについて学びました。入浴介助では洗う時の力加減は難しく、痛くないか不安でした。しかし職員の方がアドバイスをしてくれたので入浴介助をすることができました。とても嬉しかったです。訪問活動も経験でき、三日間多くの事を学ぶことができました。

後藤 美春さん

初日はどうしていいのかわからなかったが、職員の方が優しく教えてくれたのでしっかり学ぶことができました。訪問活動では、洗いもの、掃除、お話し等をし、デイサービスでは入浴介助等を体験しました。入浴介助は初めてでしたが、髪を乾かしていたら「気持ちがいい」と、言ってくれたのでとても嬉しかったです。



白水中学校 福祉体験学習

8月3日～5日の3日間、白水中学校の福祉体験学習が行われ、3年生3名の生徒が社会福祉協議会で介護等の仕事を体験しました。

利用者の方々のふれあいや働くことの喜び、責任感や達成感、思いやりの心等を学ぶことができた体験学習だったと思います。



デイサービス体験の様子

ご協力ありがとうございました

平成27年度 南阿蘇村
社会福祉協議会
会費実績額

¥2,813,750



区長さんのご協力を得てお願いしました平成27年度南阿蘇村社会福祉協議会の会費につきましては、村民の皆様のご協力により下記のとおりの実績を上げる事が出来ました。村民の皆様の善意のこもった会費は「やまびこネットワーク事業」などの地域福祉の向上のために大切に使用させていただきます。



ワークキャンプの様子



やまびこ
ネットワーク
の様子



平成27年度社協会費実績表

区名	特別会費		一般会費		合計	合計
	戸数	金額	戸数	金額	戸数	
両併一区		0	106	106,000	106	106,000
両併二区		0	76	76,000	76	76,000
両併三区		0	20	20,000	20	20,000
白川区		0	172	172,000	172	172,000
吉田一区	2	4,000	135	118,250	137	122,250
吉田二区		0	79	79,000	79	79,000
吉田三区		0	123	123,000	123	123,000
一関一区		0	91	91,000	91	91,000
一関二区		0	38	38,000	38	38,000
中松一区	1	3,000	101	101,000	102	104,000
中松二区		0	80	80,000	80	80,000
中松三区	5	11,000	107	107,000	112	118,000
第1駐在区		0	42	42,000	42	42,000
第2駐在区	11	22,000	41	41,000	52	63,000
第3駐在区	2	6,000	71	71,000	73	77,000
第4駐在区	4	10,000	81	81,000	85	91,000
第5駐在区	7	14,000	77	77,000	84	91,000
第6駐在区	4	8,000	45	44,000	49	52,000
第7駐在区	2	5,000	73	73,000	75	78,000
第8駐在区	3	6,000	91	91,000	94	97,000
第9駐在区	1	2,000	37	37,000	38	39,000

区名	特別会費		一般会費		合計	合計
	戸数	金額	戸数	金額	戸数	
東下田区		0	122	122,000	122	122,000
下田区		0	73	73,000	73	73,000
加勢区		0	53	52,500	53	52,500
川後田区		0	40	40,000	40	40,000
喜多区		0	108	107,500	108	107,500
栃木区	1	2,000	62	62,000	63	64,000
袴野区		0	21	21,000	21	21,000
長野区		0	92	92,000	92	92,000
乙ヶ瀬区		0	60	60,000	60	60,000
沢津野区		0	39	39,000	39	39,000
黒川区	1	2,000	41	41,000	42	43,000
下野区		0	122	122,000	122	122,000
立野区	1	2,000	82	82,000	83	84,000
新所区		0	82	82,000	82	82,000
赤瀬区		0	6	6,000	6	6,000
立野駅区	1	2,000	45	44,500	46	46,500
合 計	46	99,000	2,734	2,714,750	2,780	2,813,750

会 員 募 集

あなたの豊かな知識や経験を
社会のために、活かしてみませんか？

シルバー人材センター

入会資格

- 南阿蘇村に在住されている方
- おおむね60歳以上の健康で、働く意欲のある方
- センターの目的に賛同していただいた方

入会金・年会費 各1,000円



どんなお仕事でも、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

南阿蘇村シルバー人材センター

南阿蘇村久石2705 久木野総合福祉センター内

TEL 67-0294
FAX:67-2317

応援します！ 在宅介護！

社協居宅介護支援事業所

こんなことで困っていませんか？

- 体が思うように動かない。誰か身の回りのことを手伝ってくれる人はいないだろうか？
- 仕事があるから、おじいちゃん、おばあちゃんに十分な介護ができない。
- デイサービスやリハビリなどのサービスを受けたい。
- 結婚式で家を空けるのでおじいちゃんのお世話どうしたらいいだろうか？

★一人で考えこまないで、お手軽にご相談下さい。★

南阿蘇村居宅介護支援事業所
☎67-3099

私の生きがい



5駐在区
荒牧 徳義さん
昭和3年10月12生まれ(86歳)

インタビュー

○楽しみは何ですか？
◎時々、子ども達が帰って来て顔を
見せに来てくれるのを楽しみにし
ています。
○元気の秘訣は何ですか？
◎デイサービスに行き皆さんと会え
ることです。センターのご飯は美味
しいし何でん食べます。
☆「社協のヘルパーさんやデイサー
ビスで皆さんに大変かわいがって
もらってほんなご感謝しとりま
す。」笑顔で話されました。

生活困窮者への 支援制度が始まりました

相談は無料
秘密も守ります

～ひとりで抱えこまずに、社会福祉協議会へご相談ください～

日々の生活のなかでの不安や困りごとを
社会福祉協議会(社協)にお聞かせください。
一人ひとりの状況に合わせた支援内容を考え、
専門の機関・団体と連携して、
解決に向けた支援を行います。



● 仕事のこと……

- 就職したいが、仕事が見つからない
- すぐに仕事を始めることが不安

● 住まいのこと……

- 家賃を滞納し、家を出なければならない
- 会社を解雇され、家も失った

● 生活費のこと……

- 借金や公共料金の滞納があり困っている
- 家計のやりくりがうまくできず、生活費が足りない

● 子ども・家族のこと……

- 子どもの学校や勉強のことが心配
- 家に引きこもっている家族がいる

就労準備支援事業 ～就労への第一歩です～

「社会との関わりに不安がある」、「周囲の人とのコミュニケーションがうまくとれない」など、すぐに働くことが心配な方に、就労に向けた訓練や就労の機会を提供します

家計相談支援事業 ～家計の立て直しについてアドバイスします～

家計状況の課題を整理し、自ら家計を管理していけるように、状況に応じた支援計画の作成や貸付のあっせん等を行います

子どもの学習援助事業 ～子どもの明るい未来をサポート～

子どもの学習支援や居場所づくり、進学、高校の中退防止等について、子どもとその保護者に必要な支援を行います

一時生活支援事業 ～宿泊場所や食事等の提供～

決まった住居のない方に、一定期間の宿泊場所と食事等を提供しながら、自立した生活に向けた支援を行います

住居確保給付金 ～家賃相当額を支給～

離職などにより住居を失った方、または失うおそれの高い方に、就職に向けた活動を行うこと等を条件として、一定の期間、家賃相当額を支給します

ご相談

南阿蘇村社会福祉協議会

TEL 67-0294

夏の福祉体験

児童、生徒のワークキャンプ事業

支え合うことの大切さを学ぶ。

小・中学生が福祉施設で利用者の介護などを体験するワークキャンプ事業が夏休みを利用して行われ、村内の小・中学校8校から195人が参加しました。

お年寄りや障がい者の方々のお話相手や日常生活のお世話等の体験学習を通して、やさしさや思いやりの心を学んでもらいました。



やさしさ証明
参加された生徒さんに授与しました。



楽しくゲーム



笑顔で



食事の介助

ワークキャンプ体験を行った施設

- * 特別養護老人ホーム「水生苑」
- * リハセンター「ひばり」
- * 特別養護老人ホーム「陽ノ丘荘」
- * グループホームみなみ阿蘇
- * 南阿蘇村社会福祉協議会

ご協力ありがとうございました

デイサービスで ミニミニ夏祭りを開催

デイサービス利用者の皆さんが楽しみにしておられる毎年恒例の「ミニミニ夏祭り」。今年も南京玉すだれ同好会、マジックショー、久木野太鼓の披露などたくさんのボランティアさんで夏祭りを盛り上げていただき楽しい時間を過ごされました。

Mr. カレデラさんのマジックショー

「うかしコミット スイカ」の皆さん
うかしの音色に皆さんもうっとり

かわいいキャーハミハミショー

返すお返し
お返し

かき氷は
冷たかね

皆さんも四まわしに挑戦!

ひよつとご騒いで
会場も笑顔がいっぱい

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金のお願い

本年も全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が10月1日～12月31日までの3カ月間にわたり展開されます。赤い羽根共同募金は、事前に使いみちの計画を立ててから募金を行う、計画募金です。皆様から寄せられた募金は、翌年度、地域配分金として社会福祉協議会へ配分され、南阿蘇村の地域福祉事業に役立てられています。



26年度実績 3,768,652円(南阿蘇村募金総額)
27年度地域配分金 3,118,652円(社会福祉協議会への配分)
27年度広域配分金 650,000円(県下の民間福祉団体への配分)

▼南阿蘇村では共同募金配分金で下記の事業を行っています▼

- ・社協だよりの発行(年6回)
- ・みなみあそボランティアまつりの開催
- ・福祉運動会の開催
- ・一人暮らし高齢者の泊まりがけサービス事業
- ・ひとり親家庭ふれあい事業

今年の南阿蘇村の目標額は **3,400,000円**です。

今年も皆様の善意ある温かいご協力をよろしくお願いします。

災害に強い地域づくり 人づくりを目指して！ 阿蘇地域災害ボランティア設置訓練開催

参加者
スキルアップ
コース
19名
入門コース
29名

毎年のように水害や地震等による大規模災害が全国各地で発生しております。阿蘇地域でも平成24年の「九州北部豪雨災害」で大きな被害が発生しました。特に甚大な被害が発生した場合、地元だけでは被災者(地)の支援が難しく、多くのボランティアによる支援が復興に向けての「大きな力」となります。

ボランティアを受け入れて被災者(地)につなぐ「災害ボランティアセンター」の役割が注目されている今日、阿蘇は大きな一つの家族という考えのもと、市町村の枠を超えた連携と支援体制づくりを目的に、去る、8月30日に熊本県総合防災訓練と併せ、ボランティア設置訓練を久木野総合福祉センターで開催しました。

参加者には
修了証を交付しました。

災害ボランティアセンターにおける 活動の流れ

- ①ニーズ受付
被災者からの依頼を受け付け、必要に応じて現地調査等を行う。
- ②ボランティア受付
受付票とボランティア活動保険加入、名札の作成を行う。
- ③オリエンテーション
活動上の留意事項等の説明を受ける。
- ④ニーズのマッチングとグルーピング
被災者からの依頼内容の説明を聞き、参加したい活動に手を挙げて意思表示し、グループごとリーダーを決定する。
- ⑤資材の貸出・送迎
必要な資材等の貸出のチェックを受け、必要に応じてボランティアを送迎。
- ⑥救援活動
「被災者に『寄り添う』」という気持ちを大切にしながら、福祉救援活動を行う。
- ⑦活動報告
リーダーは、活動状況と活動の継続が必要な場合、次のボランティアへの引継事項をスタッフへ報告。

阿蘇ブロック
社会福祉協議会長
高森町社協 森 局長

開講式の様子

ボランティア受付

オリエンテーション

ボランティアについての
説明をうける山都町の受講生

グルーピング

マッチング

炊き出し訓練についての説明

ボランティア協力団体

- ・熊助組(熊本大学)
 - ・山都町災害ボランティア団体
 - ・南阿蘇村民生児童委員
 - ・南阿蘇村ボランティア連絡協議会
- ご協力ありがとうございました。

ハイゼックスの袋を使っの災害炊出訓練

シリーズ 人と人をつなぐ “やまびこネットワーク”

立ちあげや連絡会など
お気軽にご相談ください。

4駐在区の活動状況



4駐在区
大津晴男 区長

やまびこ活動で支え合いの輪を

久木野地区では、合併前より近所の声かけ、見守り等の支え合い活動として「ネットワーク活動」に取り組んできました。合併後も4駐在区では公民館の役員、福祉部長を中心に今の「やまびこネットワーク事業」に取り組み公民館でのサロン事業や見守り等の助け合い事業を展開しています。

サロン事業では、健康についての話や、駐在所から交通安全に関する話、消費者トラブル等の出前講座など実施しています。

その後は、レクリエーションで頭の体操や健康体操、輪投げなどを楽しみながら館内は笑い一色となります。又、昼食の時間には、昔話や世間話に花が咲き、集まることでお互いの健康に気を配ったり元気を確認しています。

4駐在区も高齢化が年々進んでおります。一人暮らし、高齢者世帯が多くなっている中、となり近所の助け合いがとても大切であり今後もこの「やまびこネットワーク活動」を通して4駐在区の皆さんと一緒に安心して暮らして行けるよう「支え合いの輪」を広げていきたいと思います。



広げよう「支え合いの輪」



声かけの様子

「近所もんが時々顔見に来られて助かります。」

となり近所の
助け合いが
とても大切。



ふれあいサロンの様子

あしがき

朝夕冷え込み、肌寒い季節となりました。先には、茨城、栃木、宮城で記録的な豪雨により多くの住宅が浸水し流され、現在も避難生活を余儀なくされている方が沢山おられます。又、阿蘇山では爆発的な噴火が発生し、噴煙が高さ2千メートルに達した阿蘇中岳第一火口。今後も引き続き警戒が必要との事です。

いつ起こるか分からない災害、復旧作業では、「災害ボランティアセンター」を早期に開設し、多くのボランティアの支援が必要となります。今回、災害時に活躍して頂くボランティアリーダーを養成する「阿蘇地域災害ボランティア設置訓練」にたくさんの方が受講されました。今後は、これまでの災害を教訓に、となり近所の声かけ見守り等の支え合い事業「やまびこネットワーク活動」、災害時要援護者台帳の見直し等を行い、災害に強い地域づくりを皆さんと共に作っていきたいと思います。

秋は気温が変わりやすいので体調に気をつけられお過ごし下さい。

みんなみんなの みなみちゃん

